



### 地域で異なる協会けんぽの保険料率

— 9月分給料支払いの際は要注意! —

昨年、政府管掌健康保険が行っていた事業の一部が全国健康保険協会（協会けんぽ）に移管されましたが、協会けんぽ設立の目的の一つである地域密着性を推進するため、平成21年9月より、保険料率が都道府県ごとに設定されることになりました。

#### <都道府県単位保険料率>

|                  |                                  |
|------------------|----------------------------------|
| 8.26%            | 北海道                              |
| 8.25%            | 佐賀県                              |
| 8.24%            | 徳島県、福岡県                          |
| 8.23%            | 香川県、熊本県、大分県                      |
| 8.22%            | 大阪府、岡山県、広島県、山口県、長崎県、鹿児島県         |
| 8.21%            | 青森県、秋田県、石川県、奈良県、和歌山県、島根県、高知県     |
| 8.20%<br>(従前と同率) | 福島県、福井県、兵庫県、鳥取県、宮崎県、沖縄県          |
| 8.19%            | 宮城県、神奈川県、富山県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、愛媛県 |
| 8.18%            | 岩手県、山形県、茨城県、栃木県、東京都、新潟県、滋賀県      |
| 8.17%            | 群馬県、埼玉県、千葉県、山梨県、静岡県              |
| 8.15%            | 長野県                              |

なお、介護保険の保険料率（1.19%）については全国一律のままで、料率も変更ありません。

また、9月は厚生年金保険料率も変更となります（全国一律。現 15.35%→変更後 15.704%）。9月分の保険料を給料から控除する際（通常は10月に支払う給料）はご注意ください。

### 出産育児一時金について

— 安心して出産をしていただくために —

現在、被保険者が出産をされたときには、1児ごとに38万円（産科医療補償制度に加入している病院等で出産した場合。それ以外の場合は35万円。）が出産育児一時金として支給されています。

この出産育児一時金について、緊急の少子化対策の暫定措置が平成21年10月から平成23年3月末まで実施されます（この期間内の出産が対象）。

#### ◆支給額の変更

この暫定措置では、支給額が4万円引き上げられ、原則として42万円（産科医療補償制度に加入している病院等で分娩した場合。それ以外の場合は35万円から4万円引き上げた39万円。）が支給されます。

被扶養者の出産に対して支給される家族出産育児一時金も同様です。

#### ◆受取方法の見直し

現在は通常、出産にかかる費用を病院等に支払った後に、出産育児一時金の請求書を提出することにより、出産育児一時金が事後払いされています（希望により病院等を受取代理人とする事前申請は可能）が、平成21年10月からは、出産費用に直接病院等に支払うことができるように、原則として直接病院等に支払う仕組みに改められます。

これにより、まとまった出産費用を事前に用意する必要がなくなります。なお、出産にかかった費用が出産育児一時金の支給額（原則42万円）の範囲内であった場合には、その差額は請求により、被保険者へ支払われます。

ただし、直接病院等に出産育児一時金が支払われることを望まない場合には、出産後にご本人に支払う現行の制度を利用することも可能です。

これらの制度によって、多くの女性が安心して出産ができるようになるとともに、少しでも少子化に歯止めがかかることを期待したいものです。

### 《声》

僅かなことが原因で大事が起きたり、大きな転機が来たりするものです。これを特異点と言います。

人生を振り返って、「あれが自分にとって大きな転機であった」と思うような出来事（特異点）が必ずあるでしょう。例えば、人や本との出会い、転職は良くあることです。時には病氣・事故等によって人生が大きく変わることもあります。

商売等で大事なことは、特異点を逃さないことです。この特異点をどうしたら活かせるのでしょうか。

第一は行動本位になることです。必要と判断したら、人にも会う、本等で調べてみる、現場に行ってみる等です。第二に、自分への言い訳を考えず、意欲が高いうちに相談したり、計画を作ったりすること。第三に、悲観的な予想を暗示しないことです。

